

【中学校教務主任調査】 質問 1

学校名の記述

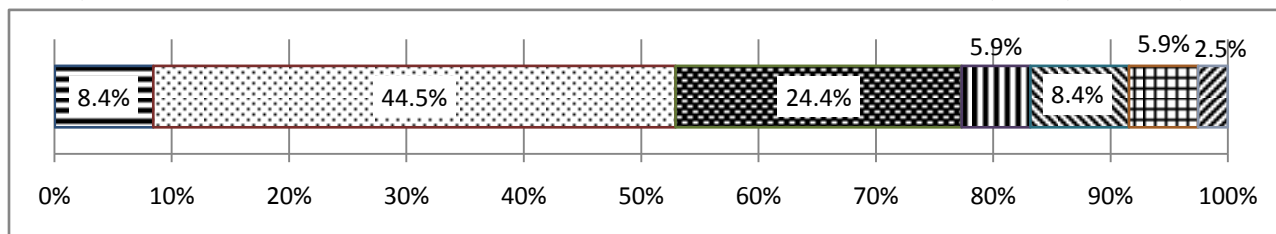
【中学校教務主任調査】 質問 2

「新規入力」または「差し替え入力(修正入力)」の選択

【中学校教務主任調査】 質問 3

学校の全学年合計学級数(特別支援学級を除く)

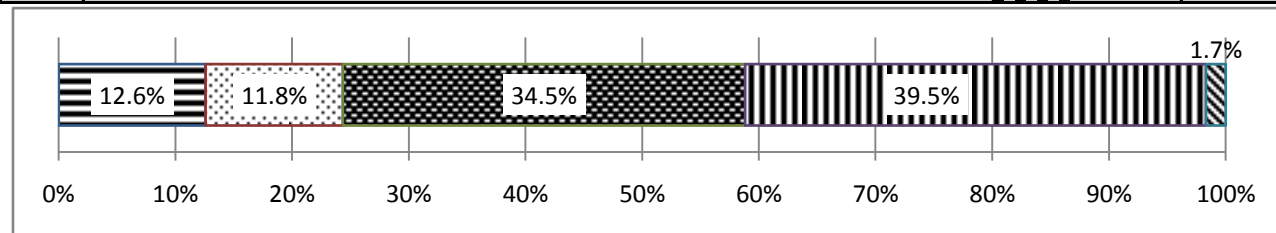
		回答数	割合
①	1～2	10	8.4%
②	3～4	53	44.5%
③	5～7	29	24.4%
④	8～10	7	5.9%
⑤	11～13	10	8.4%
⑥	14～16	7	5.9%
⑦	17以上	3	2.5%



【中学校教務主任調査】 質問 4

1 学年の学級平均生徒数

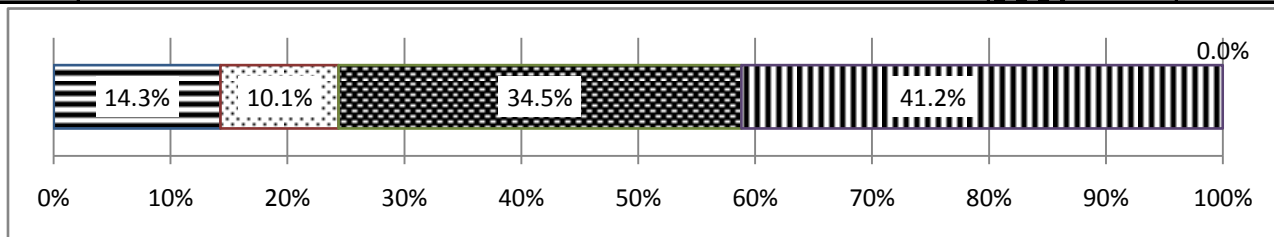
		回答数	割合
①	10未満	15	12.6%
②	10～20未満	14	11.8%
③	20～30未満	41	34.5%
④	30以上	47	39.5%
⑤	1年在籍なし	2	1.7%



【中学校教務主任調査】 質問 5

2 学年の学級平均生徒数

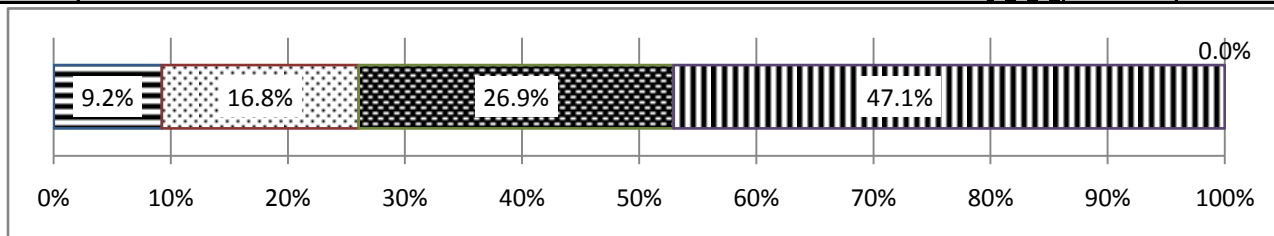
		回答数	割合
①	10未満	17	14.3%
②	10～20未満	12	10.1%
③	20～30未満	41	34.5%
④	30以上	49	41.2%
⑤	2年在籍なし	0	0.0%



【中学校教務主任調査】 質問 6

3 学年の学級平均生徒数

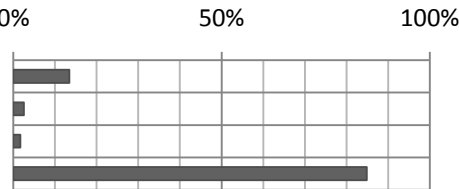
		回答数	割合
①	10未満	11	9.2%
②	10～20未満	20	16.8%
③	20～30未満	32	26.9%
④	30以上	56	47.1%
⑤	3年在籍なし	0	0.0%



【中学校教務主任調査】 質問 7

国語科の指導について(複数選択可)

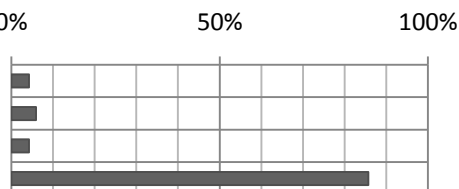
	回答数	割合
① 少人数, T T 指導実施	16	13.4%
② 免許外担当あり	3	2.5%
③ 非常勤講師あり	2	1.7%
④ 該当なし	101	84.9%



【中学校教務主任調査】 質問 8

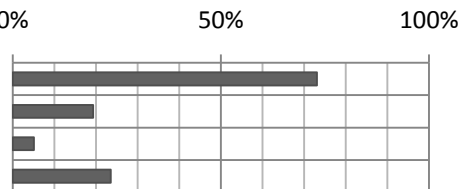
社会科の指導について(複数選択可)

	回答数	割合
① 少人数, T T 指導実施	5	4.2%
② 免許外担当あり	7	5.9%
③ 非常勤講師あり	5	4.2%
④ 該当なし	102	85.7%



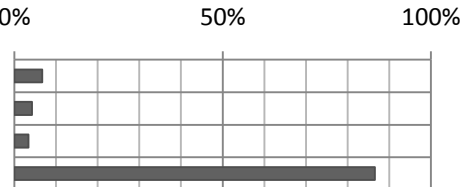
【中学校教務主任調査】 質問9
 数学科の指導について(複数選択可)

		回答数	割合
①	少人数, T T指導実施	87	73.1%
②	免許外担当あり	23	19.3%
③	非常勤講師あり	6	5.0%
④	該当なし	28	23.5%



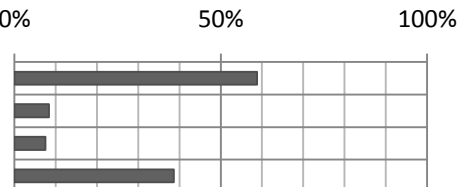
【中学校教務主任調査】 質問10
 理科の指導について(複数選択可)

		回答数	割合
①	少人数, T T指導実施	8	6.7%
②	免許外担当あり	5	4.2%
③	非常勤講師あり	4	3.4%
④	該当なし	103	86.6%



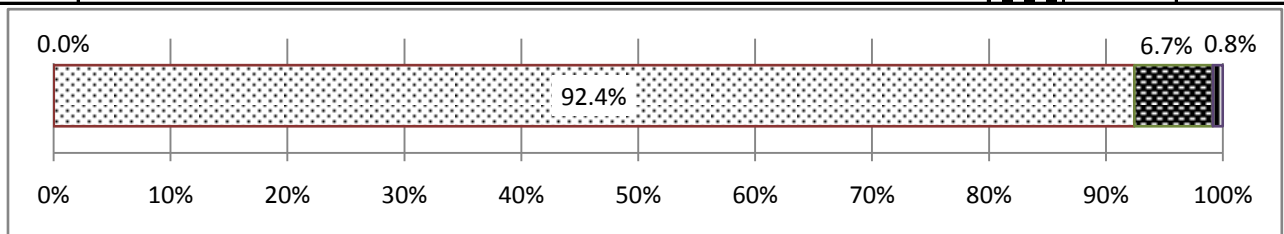
【中学校教務主任調査】 質問11
 英語科の指導について(複数選択可)

		回答数	割合
①	少人数, T T指導実施	70	58.8%
②	免許外担当あり	10	8.4%
③	非常勤講師あり	9	7.6%
④	該当なし	46	38.7%



【中学校教務主任調査】 質問12
 学校の1週間の授業時間数(変動する場合は, 平均に近い値)

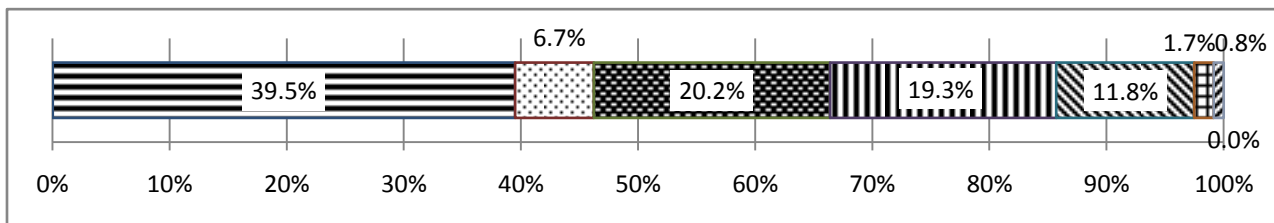
		回答数	割合
①	27時間以下	0	0.0%
②	28	110	92.4%
③	29	8	6.7%
④	30	1	0.8%



【中学校教務主任調査】 質問13

学級担任をしている教員の、1週間の平均的な授業時間数(学活、道徳、総合的な学習を含む)

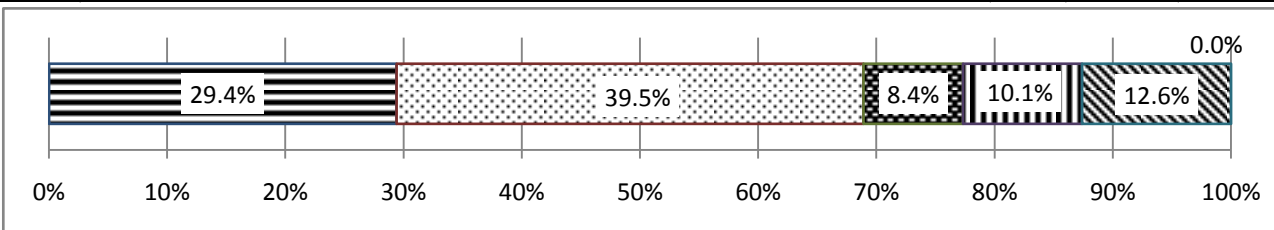
		回答数	割合
①	16以下	47	39.5%
②	17	8	6.7%
③	18	24	20.2%
④	19	23	19.3%
⑤	20	14	11.8%
⑥	21	2	1.7%
⑦	22	1	0.8%
⑧	23以上	0	0.0%



【中学校教務主任調査】 質問14

先日、発表された「平成21年度全国学力・学習状況調査」の自校の調査結果について、どのような対応を取りましたか。

		回答数	割合
①	教職員全員で調査結果を確認し、課題や方針等についての協議を行った	35	29.4%
②	教職員全員で調査結果を確認したが、協議は行わなかった	47	39.5%
③	国語科及び数学科担当等一部の教員のみで調査結果を確認し、課題や方針等について協議を行った	10	8.4%
④	国語科及び数学科担当等一部の教員のみで調査結果を確認したが、協議は行わなかった	12	10.1%
⑤	確認や協議は行っていないが、今後行う予定である	15	12.6%
⑥	確認や協議は行っておらず、今後行う予定はない	0	0.0%



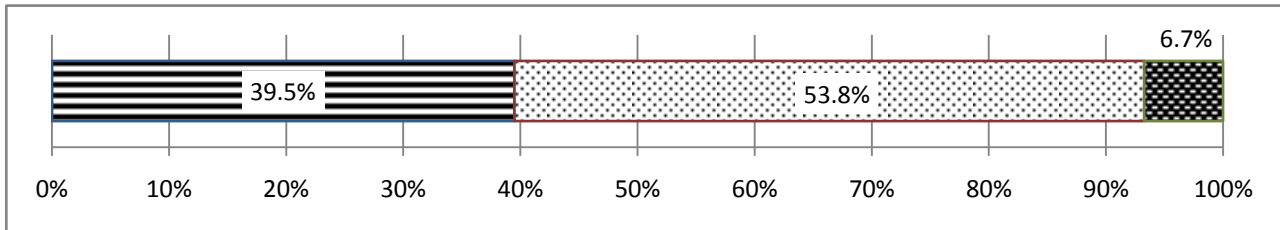
○教職員全員で調査結果を確認した学校は、68.9%で、一部の教員のみで調査結果を確認した学校は18.5%である。

○課題や方針等の協議を行った(行う予定も含む)学校は、49.8%で、行っていない学校は50.2%である。

【中学校教務主任調査】 質問15

授業や「宿題」で、各種学力調査の事後指導に取り組みましたか。

		回答数	割合
①	全ての学力調査において、事後指導に取り組んでいる	47	39.5%
②	一部の学力調査において、事後指導に取り組んでいる	64	53.8%
③	全ての学力調査において、事後指導に取り組んでいない	8	6.7%

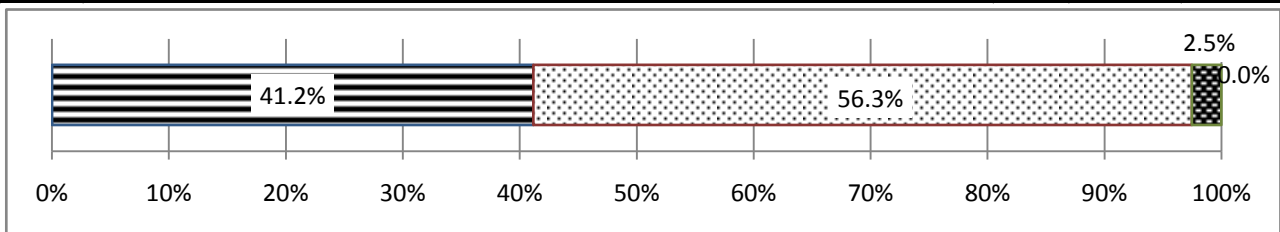


- 各種学力調査の事後指導に取り組んでいる学校は、93.3%である。
- 事後指導に取り組んでいない学力調査がある学校は、60.5%である。

【中学校教務主任調査】 質問16

各種学力調査の結果と、自校生徒の「家庭学習」の実施状況との関係性について、どのように判断しますか。校内での協議結果、または回答者の判断でお答えください。

		回答数	割合
①	関係がある	49	41.2%
②	どちらかといえば関係がある	67	56.3%
③	どちらかといえば関係がない	3	2.5%
④	関係がない	0	0.0%

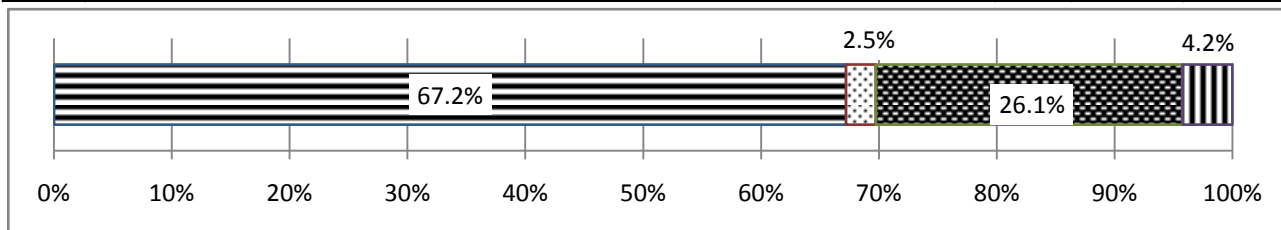


- 学力調査結果と、「家庭学習」の実施状況との関係性を肯定する回答は、97.5%である。
- 関係性を否定する回答は、2.5%である。

【中学校教務主任調査】 質問17

学校全体の「家庭学習」の指導方針があり、共通確認しましたか。

		回答数	割合
①	学校全体の指導方針が教育計画の中に位置づけられ、職員会議等で確認した	80	67.2%
②	学校全体の指導方針が教育計画の中に位置づけられているが、確認していない	3	2.5%
③	学校全体の指導方針が、教育計画の中に位置づけられていないが、職員会議で「家庭学習」指導について情報交換等をした	31	26.1%
④	学校全体の指導方針がなく、情報交換等もしていない	5	4.2%

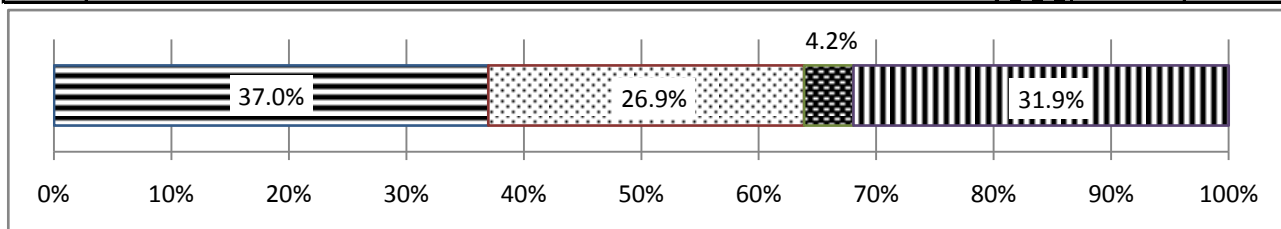


- 「家庭学習」指導方針が教育計画の中に位置付いている学校は、69.7%である。
- 「家庭学習」指導について情報交換等を行っている学校は、93.3%で、行っていない学校は6.7%である。

【中学校教務主任調査】 質問18

「家庭学習」指導を推進する担当教員が、校内組織や分掌に位置付けられていましたか。

		回答数	割合
①	校内組織や分掌に位置づけられ、継続的に活動した	44	37.0%
②	校内組織や分掌に位置づけられ、主に年度初めや学期末に活動した	32	26.9%
③	校内組織や分掌に位置づけられているが、ほとんど活動はなかった	5	4.2%
④	校内組織や分掌に位置づけられていなかった	38	31.9%

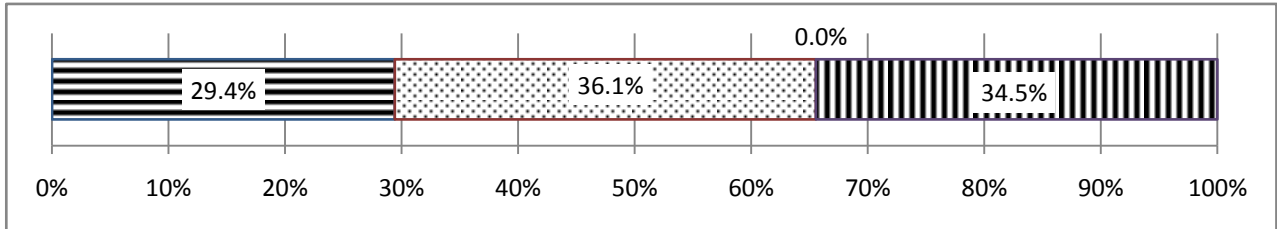


- 「家庭学習」指導を推進する担当教員が位置付いている学校は、68.1%である。
- 該当担当教員が実際に活動している学校は、63.9%である。

【中学校教務主任調査】 質問19

「家庭学習」の実態や意識に関する、学校独自の調査を行いましたか。

		回答数	割合
①	生徒・保護者の両方に行った	35	29.4%
②	生徒のみに行った	43	36.1%
③	保護者のみに行った	0	0.0%
④	どちらにも行わなかった	41	34.5%



- 生徒、保護者の両方またはいずれかに調査を行った学校は、65.5%である。
- 保護者を対象に調査を行った学校は、29.4%である。

【中学校教務主任調査】 質問20

「家庭学習」に関して、保護者との連携を図るためにどのような活動を行いましたか。(複数回答可)

	回答数	割合	
① 「家庭学習」に対する学校の指導方針等を伝えた	85	71.4%	
② 「家庭学習」の環境づくりや、指導や点検への協力をお願いした	44	37.0%	
③ 「家庭学習」に関する生徒への声かけについて願った	77	64.7%	
④ 「家庭学習」への保護者の意見や相談を受ける機会を設けた	19	16.0%	
⑤ 「家庭学習」について考える機会をPTA活動の中に設けた	16	13.4%	
⑥ 「家庭学習」に関して、保護者との連携を図る活動は特に行わなかった	7	5.9%	
⑦ その他	4	3.4%	

【中学校教務主任調査】 質問21

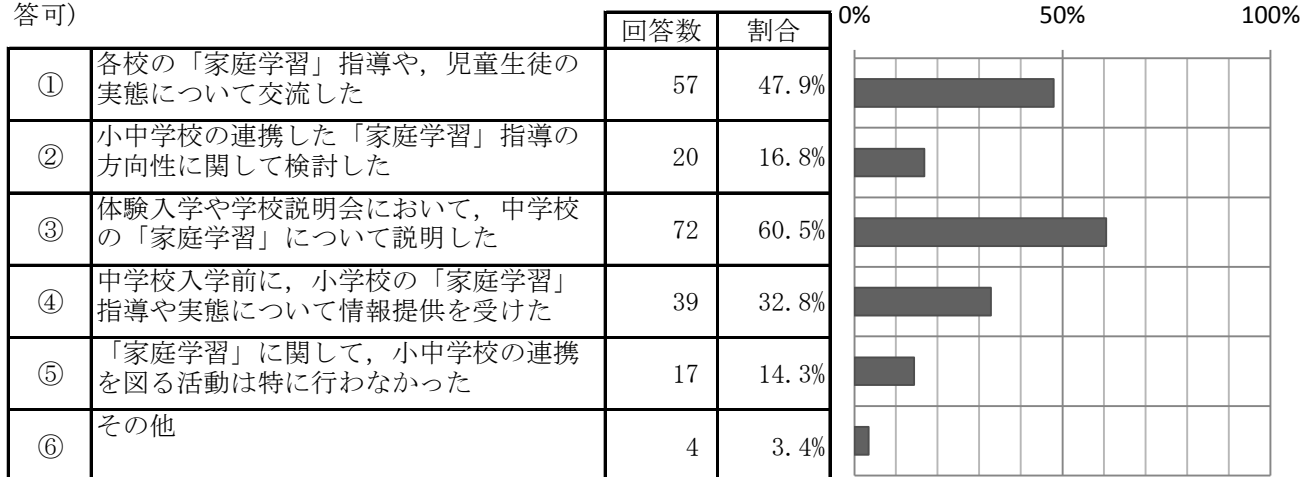
質問20で、その他を選択した場合は、その内容をお書きください。

- 1 P T Aの諸会議や地区懇談会で保護者に協力をもとめた。
- 2 家庭学習について学校独自の調査は行っていないが、釜石市教育研究所の家庭学習調査班が作成したアンケートを実施し、その結果について、校報等で伝えた。
- 3 学級、学年通信等を利用して、家庭学習の意義や進め方について理解を求めた。
- 4 学校の「学びフェスト」に掲げ、家庭にお願いしたいこととして明記し配付している。

- 回答が多かったのは、「学校の指導方針等を伝える(71.4%)」, 「生徒への声かけの依頼(64.7%)」で50%を超え、次いで「環境づくりや指導・点検等への協力依頼(37.0%)」である。
- 「家庭学習」の内容へのかかわりを直接的に依頼した学校は、37.0%である。
- 保護者との連携を図らなかった学校は、5.9%である。

【中学校教務主任調査】 質問22

「家庭学習」に関して、小中学校の連携を図るためどのような活動を行いましたか。(複数回答可)



【中学校教務主任調査】 質問23

質問22で、その他を選んだ場合はその内容をお書きください。

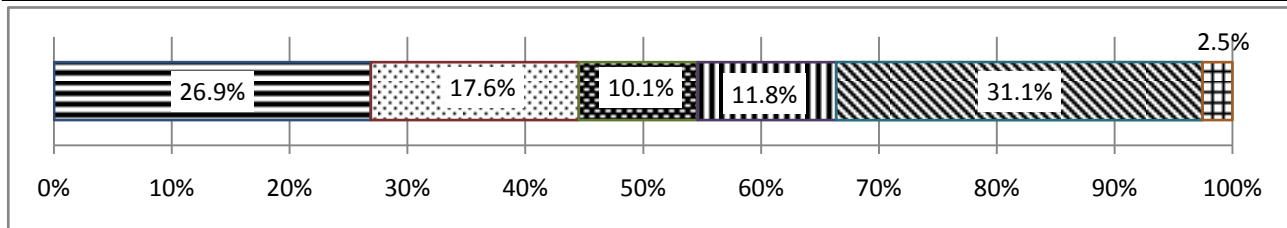
- 1 12月8日に小中学校職員による交流会を実施することになっている。
- 2 1学期ではないが、11月に実施した小中合同拡大校内研究会において、本校の家庭学習指導について、情報提供を行った。
- 3 併設校の良さを生かし、小中が連携し9年間を見通した家庭学習の環境づくりをおこなっている。
- 4 来年度、閉校の方針が出ていたので、小中連携はストップした。

- 回答が多かったのは、「体験入学・学校説明会での説明(60.5%)」で、次いで「実態についての交流(47.9%)」，「小学校からの情報提供を受ける(32.8%)」である。
- 「家庭学習」指導について、小学校と検討を行ったのは16.8%である。
- 連携を行わなかった学校は14.3%である。

【中学校教務主任調査】 質問24

「家庭学習」充実のため、部活動の外部コーチやスポーツ少年団等の指導者、また各父母会に対し、適正な活動時間への協力を求める働きかけを行いましたか。

		回答数	割合
①	活動が校長会等で定めた適正な範囲内で行われており、働きかけの必要がない	32	26.9%
②	働きかけを行った結果、ほとんどの部活動・スポーツ少年団等から協力を得ていた	21	17.6%
③	働きかけを行った結果、一部の部活動・スポーツ少年団等から協力を得ていた	12	10.1%
④	働きかけを、現在も行っている最中である	14	11.8%
⑤	働きかけを、行っていなかった	37	31.1%
⑥	その他	3	2.5%



【中学校教務主任調査】 質問25

質問24で、その他を選択した方はその内容をお書きください。

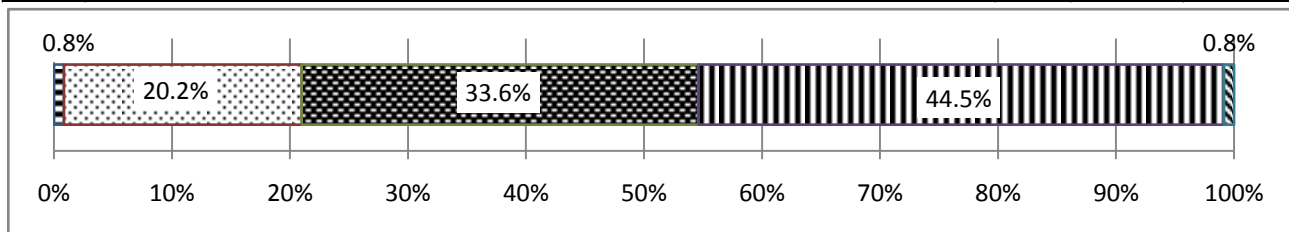
- 1 協力を依頼しているが、大会直前になると、どうしても部活動やスポーツ少年団の活動が優先されているのが現状である。
- 2 家庭学習の充実のためではないが、適正な活動時間や活動方法の協力を求める働きかけを行い、協力を得ている。
- 3 外部コーチ、スポーツ少年団等は本校に存在しない。

- 働きかけの必要がない学校は、26.9%であり、働きかけの必要がある学校は73.1%である。
- 実際に働きかけを行った学校は、39.5%であり、働きかけを行っていない学校が、30.4%である。
- 働きかけを行った結果、少しでも協力を得られたのは、28.7%である。

【中学校教務主任調査】 質問26

学校全体として「宿題」と「自主学習ノート」にどのような割合で取り組ませましたか。

		回答数	割合
①	「宿題」のみに、取り組ませた	1	0.8%
②	「宿題」を中心に、「自主学習ノート」にも取り組ませた	24	20.2%
③	「宿題」と「自主学習」に同程度、取り組ませた	40	33.6%
④	「自主学習ノート」を中心に、「宿題」にも取り組ませた	53	44.5%
⑤	「自主学習ノート」のみに、取り組ませた	1	0.8%

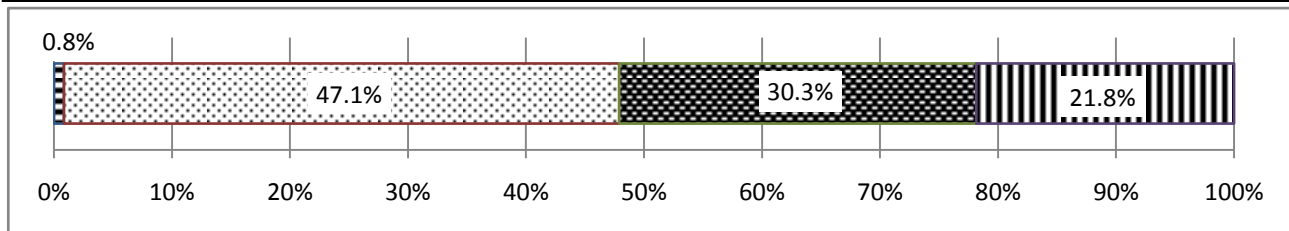


- 「自主学習ノート」に取り組ませている学校は、99.2%である。
- 回答数の多い順に、「自主学習ノート中心(44.5%)」，次いで「宿題と自主学習ノートが同程度(33.6%)」，「宿題中心(20.2%)」である。

【中学校教務主任調査】 質問27

「宿題」の内容や出し方について、協議や共通確認を行いましたか。

		回答数	割合
①	「宿題」には取り組ませなかった	1	0.8%
②	学校全体で協議や共通確認を行った	56	47.1%
③	一部の教科や学年で協議や共通確認を行った	36	30.3%
④	協議や共通確認は行わなかった	26	21.8%

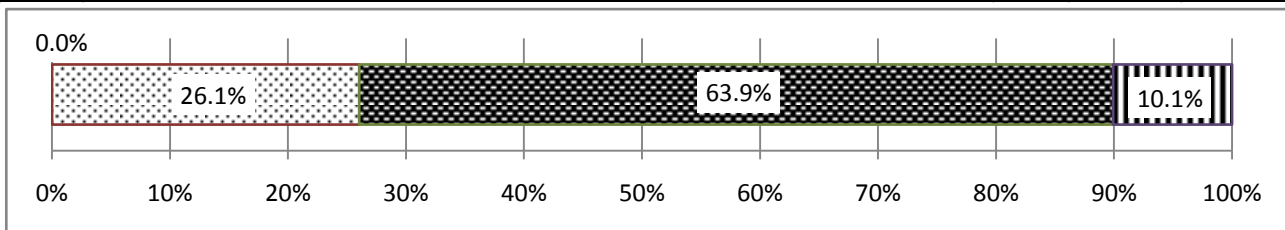


- 「宿題」の出し方について、学校全体で共通確認している学校は、47.1%である。
- 学校全体，あるいは一部の共通確を加えると，77.4%である。

【中学校教務主任調査】 質問28

「宿題」の連絡・確認や未達成者の指導に関し、教科担任と学級担任の連携が図られていましたか。（「宿題」未達成者：課された内容を全部または一部やってこなかった者）」

		回答数	割合
①	「宿題」には取り組ませなかった	0	0.0%
②	連携した指導が、学校全体で図られていた	31	26.1%
③	連携した指導が、一部の教科・教員間で図られていた	76	63.9%
④	連携した指導は、特に図られていなかった	12	10.1%

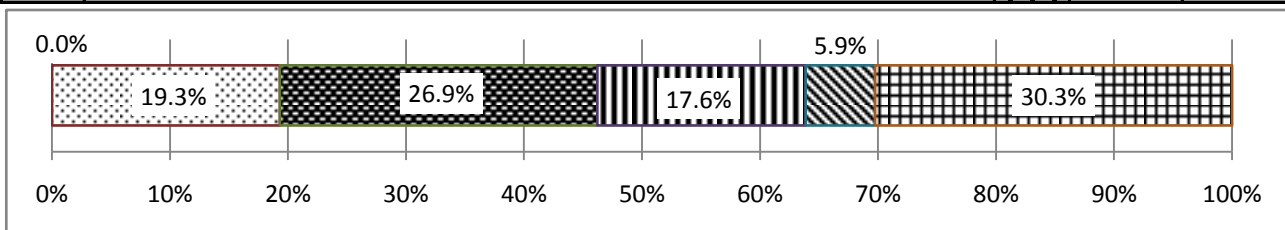


- 教科担任と学級担任との連携が、学校全体で図られていたのは、26.1%である。
- 学校全体、あるいは一部の教科・教員間の連携も加えると、90%である。

【中学校教務主任調査】 質問29

学力向上に資する「宿題」について研究したり、実践交流等を行ったりしていませんか。

		回答数	割合
①	「宿題」には取り組ませなかった	0	0.0%
②	研究として取り上げた	23	19.3%
③	研究としては取り上げていないが、全体や各教科等で互いの実践等について実践交流している	32	26.9%
④	研究としては取り上げていないが、一部の教科等で互いの実践等について実践交流している	21	17.6%
⑤	研究としては取り上げていないが、担当（研究部等）が参考文献や指導例の提示等をしている	7	5.9%
⑥	「宿題」指導に関する、研究や実践交流は特に行っていない	36	30.3%

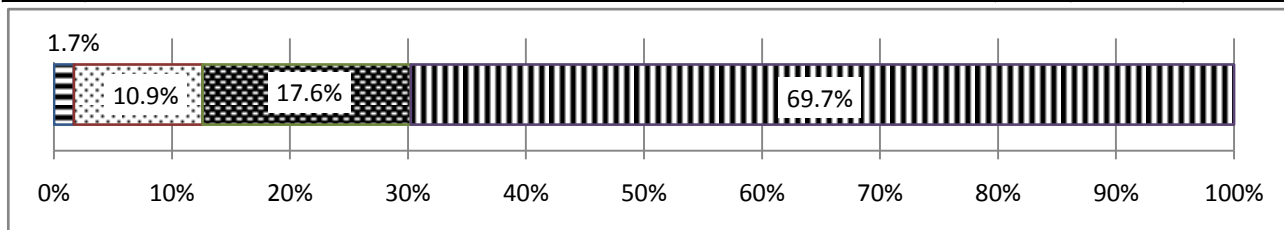


- 「宿題」指導に関して、研究や実践交流、指導例の提示を行っている学校は、69.7%である。

【中学校教務主任調査】 質問30

「宿題」の学期末評価への取り入れ方について、共通確認をしていましたか。

		回答数	割合
①	「宿題」には取り組ませなかった	2	1.7%
②	学校全体で、学期末評価への取り入れ方を共通確認していた	13	10.9%
③	一部の教科または学年等で、学期末評価への取り入れ方を共通確認していた	21	17.6%
④	共通確認はしていなかった	83	69.7%

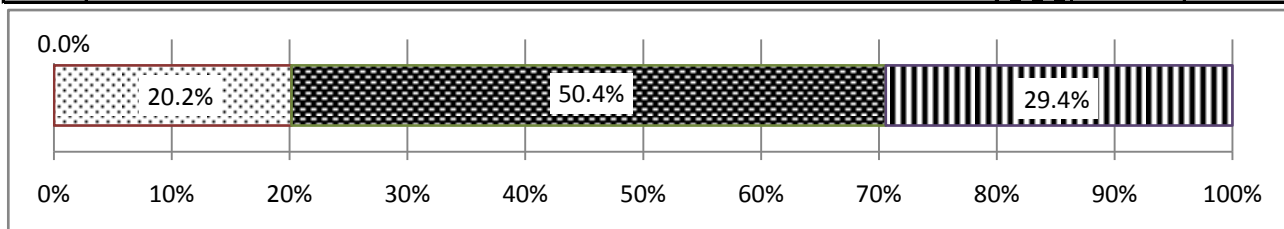


- 「宿題」の学期末評価へのとり入れかたについて、学校全体で共通確認が図られていたのは、10.9%である。
- 学校全体、あるいは一部の教科・教員間の共通確認も加えると、28.5%である。

【中学校教務主任調査】 質問31

「宿題」未達成者への指導方法について、共通確認をしていましたか。

		回答数	割合
①	「宿題」には取り組ませなかった	0	0.0%
②	学校全体で共通確認していた	24	20.2%
③	一部の教科や学年で共通確認していた	60	50.4%
④	共通確認はしていなかった	35	29.4%



- 「宿題」未達成者の指導法について、学校全体で共通確認しているのは、20.2%である。
- 学校全体、あるいは一部の教科・教員間の共通確認も加えると、70.6%である。

【中学校教務主任調査】 質問32

「宿題」指導全般に関して、全校または特定の教科において、特に工夫していることなどがありましたらお書きください。

- 1 期末テストの前3週間の家庭学習として、自主学習と宿題（自主学習ノート1ページ該当分）両方に取り組みさせること。
- 2 宿題が未提出であった場合は、教科担任と学級担任が連携をとって、提出が完了するまで放課後に居残りをさせるなど、提出結果を曖昧にしないよう指導している。
- 3 「宿題」の内容と授業の内容との連携を研究中である。
- 4 1.2学年において学年廊下に掲示板を設置し、5教科の宿題内容を記入している。
- 5 実施期間を設定し、週末課題プリントに取り組んでいる。（1.2年）
- 6 Gアップシートの活用。
- 7 教科担任が宿題を授業前に点検し、授業で確認している。
- 8 その授業の基礎
- 9 基本に係るものを宿題として出している。
- 10 提出するだけでなく点検・指導を加えること
- 11 授業や学習の定着に効果がある課題提示を心がける
- 12 ① 数学では、宿題の点検・添削をチームティーチングのT2を中心に行い役割を分担している。② プリントを主とした宿題とし評価しやすくしている。③ 宿題をホワイトボードに掲示し、自主学習と宿題の量の調整している。
- 13 1学期は、1日2教科で順調に宿題を出すように計画し、実施した。
- 14 一日一教科に限定し、全校生徒が国・数・英の各教科担任が作成した既習問題に取り組み、一定期間の取り組みの後、全校で一斉に確認テストを行っている。
- 15 一部の教科において、未達成者は達成するまで部活動に参加させなかった。放課後の時間は宿題達成を優先させた。
- 16 英語において全学年で週末課題として取り組みせ、取り組みへの評価をしている。
- 17 家庭学習のしよりの発行 全校で、学年共通の課題（宿題）に取り組む期間を設定
- 18 学年の掲示黒板に5教科の1週間分の宿題の課題をまとめて表示し、生徒に計画的に取り組みせ、その後ノートを提出させて点検を行っている。
- 19 宿題の内容と授業との連携を研究中である。
- 20 教科において、毎日の宿題として基本問題集を各自のペースで進めるように指導し実践。（チェック表を作成し、個人の取り組み状況を毎回確認している）
- 21 全教科、曜日を決めて課題学習として取り組みさせている。授業に連動させた内容を意識している。
- 22 地区中総体前に、全校で部ごとに家庭学習点検を行い、教科担任だけでなく、全校の取り組みをした。
- 23 年度初め、家庭学習ノート指導として、「転写法」を放課後全クラス一斉に行った。また、転写法以外の家庭学習を実際に行う中で、担任及び副担任が個別指導を行った。
- 24 副教材の効果的な利用
- 25 毎日、帰りの短学活に宿題を提示し、その確認のテストを次の日の朝に実施している。教科は、1日1教科ずつ行う。
- 26 毎日宿題を出す。
- 27 曜日によって出題教科を決めている。また、教科担任間で連携を図りながら、各教科偏りがないように、まんべんなく全教科の学習がなされるようにし、その日に学習した内容の復習や次時の予習等が図られるよう配慮している。
- 28 廊下に宿題黒板を設置し、全職員で宿題の内容を確認した。
- 29 教科担任の出す宿題などの種類と量を担任が把握し、教科担任と連携しながら指導していくようにしている。
- 30 宿題として出される課題を全教員全体で把握し、教科の偏りが出たり、過度な量になって自主的な学習に支障が出ないように配慮している。
- 31 宿題に要する時間が、1教科につき20分程度以内になるように確認している。
- 32 宿題を授業に生かす（連動させる）授業の工夫を行った。
- 33 数学・英語を中心に「本日の授業リンク課題」と称して、教科担任が連携し、生徒の負担を考えながら毎日出している。担任だけではなく、教科担任等で課題をチェックしている。
- 34 学年毎に、その日に取り組む宿題の内容を一覧表に表し、毎日帰短学活で生徒に配布し、周知徹底させて取り組みさせた。
- 35 教科によっては、課題（宿題）→小テスト→学習内容の定着度確認→授業のサイクルの中に位置づけている。

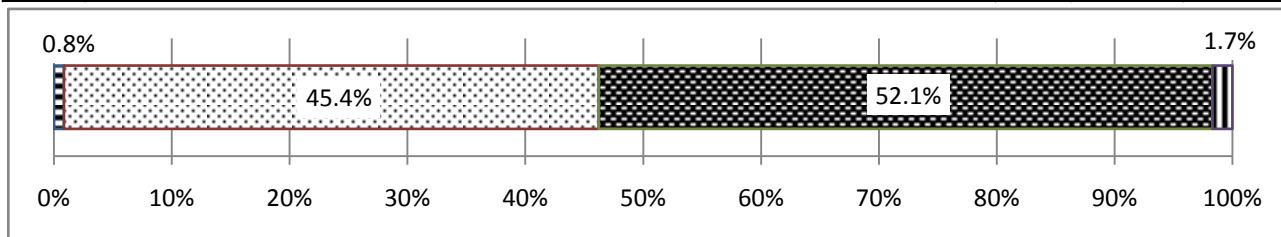
○「宿題」指導における工夫の傾向

- ・ 授業との連動をはかる工夫
- ・ 「宿題」を定期的に出す工夫
- ・ 内容に関する工夫
- ・ 連絡や確認に関する工夫
- ・ 点検や事後指導に関する工夫

【中学校教務主任調査】 質問33

「自主学習ノート」は、学校または学年・学級の、どちらの方針で行いましたか。

		回答数	割合
①	「自主学習ノート」には取り組ませなかった	1	0.8%
②	学校の方針に基づき、指導している	54	45.4%
③	学年・学級の方針に基づき、指導している	62	52.1%
④	その他	2	1.7%



【中学校教務主任調査】 質問34

質問33で、その他を選択した場合は、その内容をお書きください。

- 1 学校の方針にそって、各学年が生徒の実態に合わせて実施している。学校の方針としては、家庭学習時間とページ数、取り組む内容の大枠を提示。各学年では、取り組む具体的内容の決定と実施。
- 2 生徒会の「学力向上運動」の一環として取り組んだ。

○「自主学習ノート」は、学年・学級の方針で行っているが、52.1%であり、学校の方針に基づくよりも多い。

【中学校教務主任調査】 質問35

「自主学习ノート」の学習内容や提出率を向上させるため、どのような指導を行いましたか。(複数回答可)

	回答数	割合	0%	50%	100%	
① 「自主学习ノート」には取り組ませなかった	1	0.8%				
② 学習方法を示した「手引き」を作成した	52	43.7%	████████████████████			
③ 見本となる「学習例」を示した	85	71.4%	██			
④ 教科担任が、学習のしかたを指導した	91	76.5%	██			
⑤ 学級や学年指導で、学習のしかたを指導した	94	79.0%	██			
⑥ 個別生徒に、学習のしかたを指導していた	63	52.9%	██			
⑦ 学習のための計画を立てさせた	38	31.9%	██			
⑧ 事後指導で、添削や激励のコメント等を書き入れた	87	73.1%	██			
⑨ 教科担任が、添削や評価、個別指導などを行った	35	29.4%	██			
⑩ 学習内容や提出率の向上に関して、保護者に協力を仰いだ	33	27.7%	██			
⑪ 生徒会活動で提出率の向上運動を行った	66	55.5%	██			
⑫ 未提出者には居残りなどで代替の学習をさせた	61	51.3%	██			
⑬ 学習内容や提出率向上のための指導は特に行っていなかった	0	0.0%				
⑭ その他	2	1.7%				

【中学校教務主任調査】 質問36

質問35で、その他を選択した場合は、その内容をお書きください。

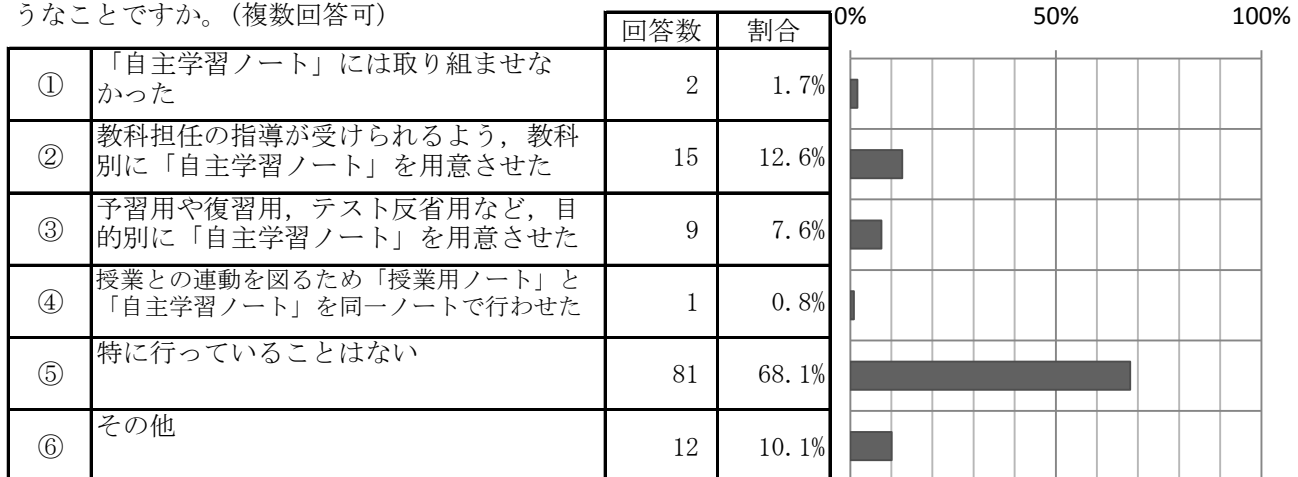
1 学校経営の最重点項目として取り組ませている。1学期の期末テスト期間2週間の「テスト週間」にある取り組みをして、30人で996時間の家庭学習を達成。それを契機に、保護者に「テレビ視聴の制限」をお願いし、PTAでワークショップを行い、「夕方6時以降はテレビ・ゲームは2時間以内」と決めてもらい、まなびフェストに新たに盛り込み、取り組んでいる。その後も2学期以降もこの取り組みは継続して行っている。詳しくは副校長まで。

2 生徒会の活動のひとつとして、個々の学習内容の交流会を定期的を実施した。

○70%を超えるものは、「学級や学年での、学習方法の指導(79.0%)」「教科担任による学習方法の指導(76.5%)」,「添削やコメントの記入(73.1%)」,「見本例を示す(71.4%)」である。
 ○実施率の低いものは、「保護者への協力依頼(27.7%)」,「教科担任からの指導(29.4%)」などである。

【中学校教務主任調査】 質問37

「自主学習ノート」で使用させているノートに関して、配慮や工夫をしていることはどのようなことですか。(複数回答可)



【中学校教務主任調査】 質問38

質問37で、その他を選択した場合は、その内容をお書きください。

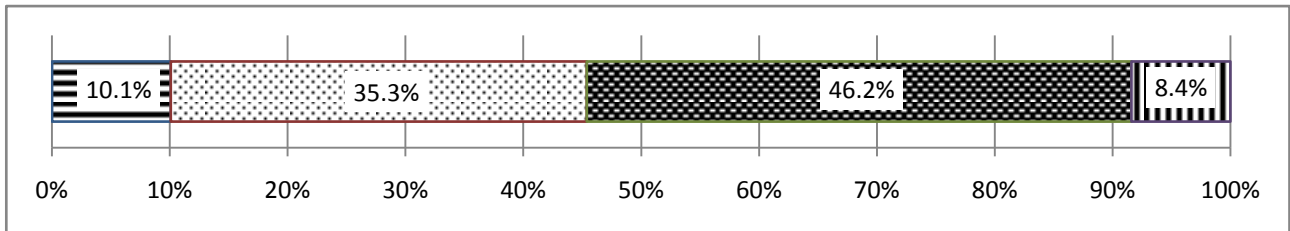
- 1 学校提出用に自主学習ノートを一人一冊ずつ用意させている。
- 2 「自主学習ノート」の共通確認はしていないが、各教科で「宿題ノート」を用意させた。
- 3 「授業用」と「自主学習用」を違うノートで行わせた。
- 4 とにかく1冊もたせている
- 5 学校で作成した自主学習ノート(希望ノート)を全学年で使用。(ドット式、見開き1日分、学習準備メモ、コメント欄有)
- 6 学年で統一した指導を行うため、ノートを指定する等している。
- 7 基本的に土・日は「自主学習ノート」を使うようにし、平日も宿題以外の学習は自主学習ノートに行わせた。
- 8 教科担任の指導が受けられるように、曜日ごとに提出する教科を決めて提出するようにした。
- 9 全校共通で取り組んでいること。
- 10 その日の授業の復習をすること。
- 11 学習方法について見本となる生徒のノートを提示し、ポイントを朱書きする等して、質的向上を図った。
- 12 生徒会の学習委員会において、家庭学習コンクールを実施している。
- 13 提出を学級担任が、内容を教科担任がというように2段階の指導を実施している。具体的には、ノートの提出を毎朝、学級担任が把握し、その後生徒は、その日特に力を入れ、見てもらいたい教科について教科担任に添削をしてもらうという取り組みを今年度から行っている。

- 「自主学習ノート」で使用するノートに関しては、68.1%の学校が特に配慮や工夫をしていない。
- その他には、複数のノートを使い分ける工夫、ノートの使い方に関する工夫等が目立つ。

【中学校教務主任調査】 質問39

「自主学習ノート」は、「ノート提出のための学習になりがちで、学力向上に寄与していない」という声が聞かれます。このことについてどのように思いますか。回答者のお考えで選択してください。

		回答数	割合
①	そのように思う	12	10.1%
②	どちらかといえばそう思う	42	35.3%
③	どちらかといえばそう思わない	55	46.2%
④	そのように思わない	10	8.4%

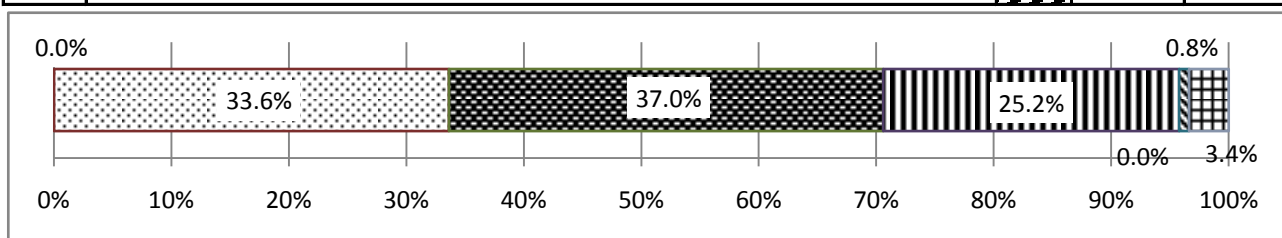


- 「自主学習ノート」は学力向上に寄与していないとの考えは、45.3%である。
- 寄与しているとの考えは、54.6%である。

【中学校教務主任調査】 質問40

これからの「家庭学習」指導の、望ましい配分として考えられるのはどれですか。

		回答数	割合
①	「宿題」のみに取り組ませる	0	0.0%
②	「宿題」を中心に「自主学習ノート」にも取り組ませる	40	33.6%
③	「宿題」と「自主学習ノート」に同程度取り組ませる	44	37.0%
④	「自主学習ノート」を中心に「宿題」にも取り組ませる	30	25.2%
⑤	「自主学習ノート」のみに取り組ませる	1	0.8%
⑥	「家庭学習」に関しては各家庭に責任を持たせ、学校の指導は必要ない	0	0.0%
⑦	その他	4	3.4%



【中学校教務主任調査】 質問41

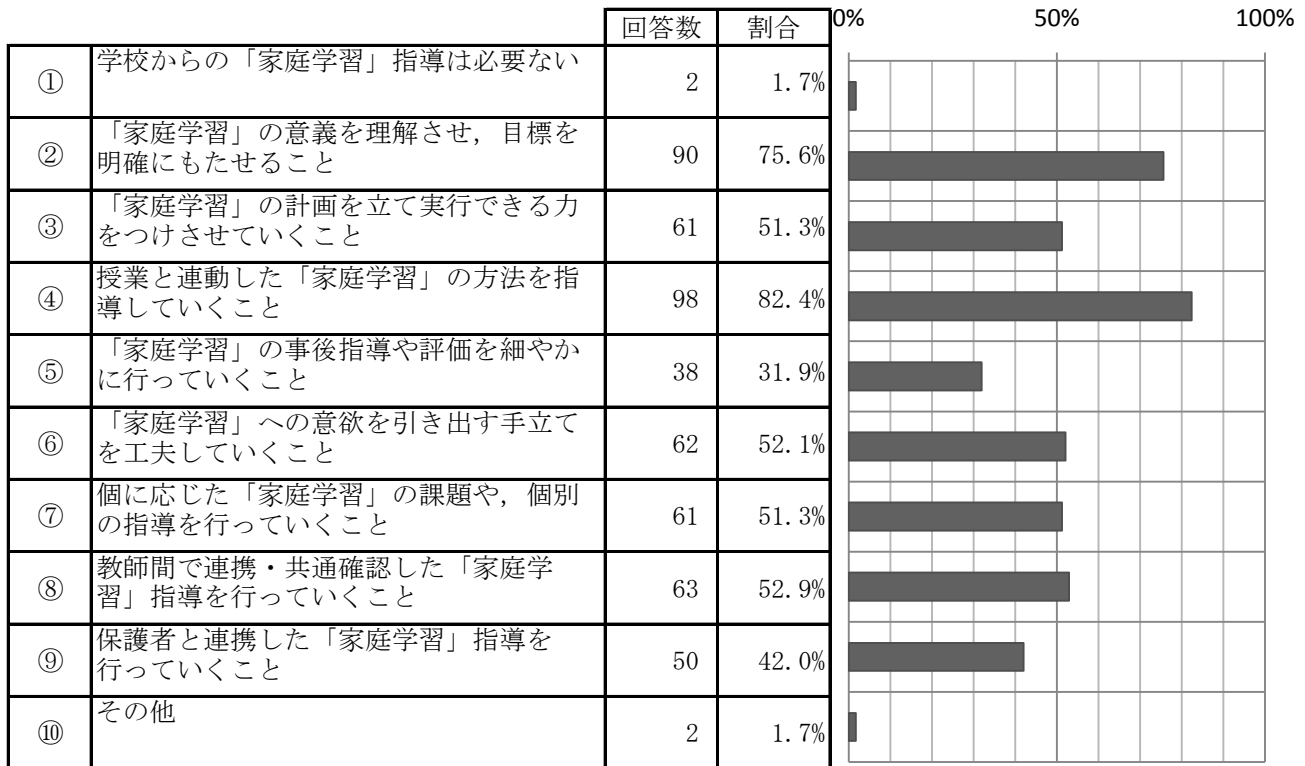
質問40で、その他を選択した場合は、その内容をお書きください。

- 1 授業における予習、復習サイクルと自主学習ノート及び宿題の活用目的を明確にして、相互の連携を考慮した指導が必要であると思う。
- 2 「宿題」は教科担任の教科経営の一環として教科担任の責任において、計画的に実施されるべきものである。一方、個々の生徒にとって「自学をする力」はこの先学びを続けていくうえで必須の能力であると言える。したがって、この力を育成するという方針の下、学校体制で議論し方向性を確認して取り組むべきものである。
- 3 生徒の実態に応じる
- 4 担当学年、生徒の状況により若干の配分変更はありうるし、単純にどちらかを全否定するものではない

○最も多いのが「同程度取り組ませる(37.0%)」、次いで「宿題中心(33.6%)」、「自主学習ノート中心(25.2%)」である。「自主学習ノート」のみは、0.8%と少ない。

【中学校教務主任調査】 質問42

これからの「家庭学習」指導において、特に重要だと考えることは何ですか。（複数回答可）



【中学校教務主任調査】 質問43

質問42で、その他を選択した場合は、その内容をお書きください。

- 1 家庭学習の習慣は、家庭での生活習慣そのものであると考えます。就学以前の幼少期の家庭環境や生活習慣の重要性を、もっと浸透させる方策を社会的にとっていく必要があると思います。
- 2 宿題にしる家庭学習にしる、提出を強制したり提出が評価と連動するものは個人のプライベートな時間の保障を侵害するものであるという視点を忘れてはいけない。人権の侵害にも抵触するおそれがあるということを念頭に、プライベートな時間に行うことに、協力要請はできても拘束力を持たせることは現に慎むべきであろう。特に学校の責任において、学校ですべき中身を家庭に負わせたり、本人の時間をつぶしてさせるということがあれば本末転倒である。

- 70%を超える回答率があったのは、「授業と連動(82.4%)」，「意義の理解・目標を持たせる(75.6%)」である。
- 回答率が50%以下のものは、「細やかな事後指導や評価(31.9%)」，「保護者との連携(42.0%)」である。